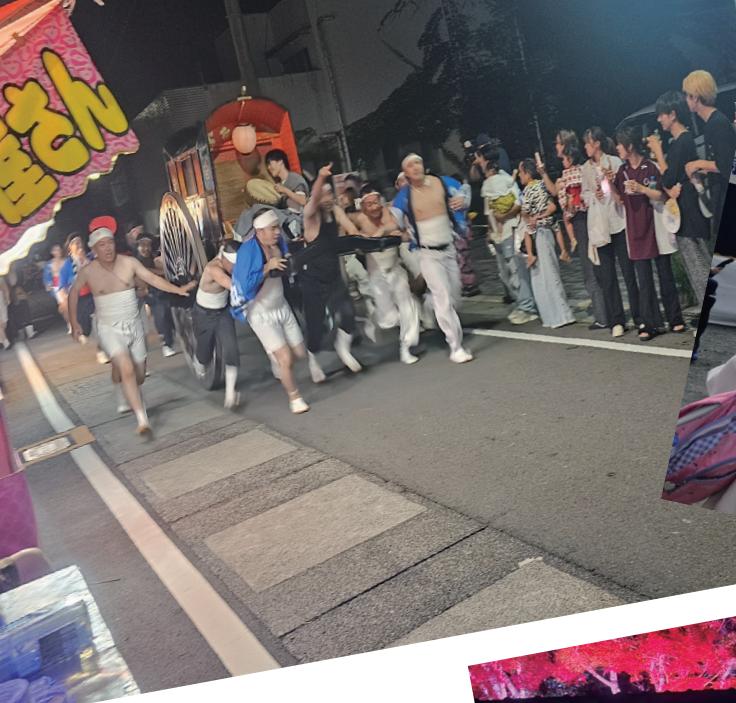


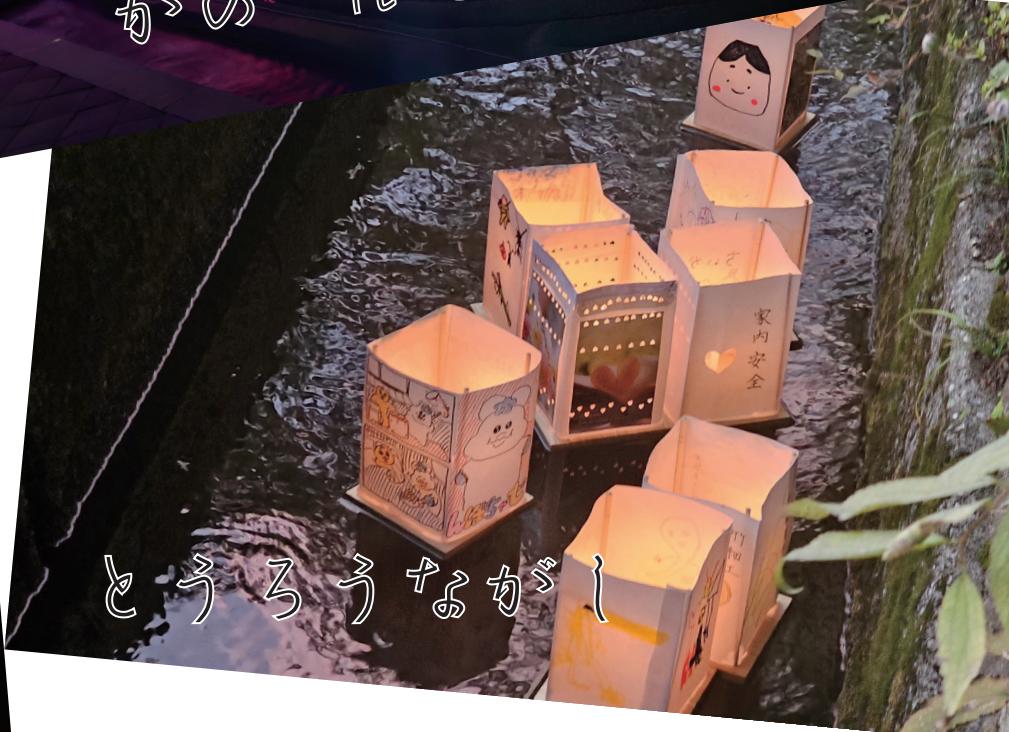
鹿野町神祭



ゆうの冬花火



2024



まちづくり応援団えーる



## 登録記念物プレートが庭園 漢陽寺に設置されました 豆跡記念物プレート除幕式

新

年明けましておめでとうございます。令和6年も、まちづくり応援団えーるをよろしくお願ひいたします。

今年初の「えーる!」で、は、昨年12月26日に行われた漢陽寺庭園登録記念物プレート除幕式の様子をご紹介します。

令和3年10月、国の登録記念物として認定された漢陽寺庭園。その認定時に送られたプレートが、2年を経てお披露目されることとなりました。

本堂で行われた式典には関係者だけでなく鹿野に住む皆さんも列席。杉村住職のあいさつや、プレート設置に尽力された「重森三玲庭園の会」の事業説明、漢陽寺の動画上映が行われました。

式典の後、山門をくぐつてすぐの場所に設置されたプレートの除幕が行われました。来賓の藤井市長や、漢陽寺庭園を造った重森三玲さんと言葉を重ね、寺内

に庭園を造るため、熱い思いを持って取り組まれた先代住職の手により、無事除幕は完了しました。半世紀もの昔に、「鹿野の地に人が寄り添い、心癒される日本庭園を作りたい」と庭園造りに心を尽くした先代住職の思いと、「漢陽寺に唯一無二の庭園を作りましょう」とそれに応じた重森さん。

鹿野の人々も造園を手伝い、8年の歳月を経て完成了庭園は、こうして登録記念物に認定されるまでに愛され続けています。

除幕された、ぴかぴか輝くモニュメントには、庭園の説明や30人を超える功労者・寄付者の名前が刻まれています。たくさんの人たちの思いが集まり、こうして形になつたのだなど感じました。



○プレートを見る杉村住職と、重森三玲庭園の会の渡辺会長



# 雪の 漢陽寺



式典のため訪れた本堂はまさに雪景色。固まりになつた雪が屋根から大きく張り出した場所も見かけました。

登録記念物に認定された庭園のひとつである「曲水の庭」の砂紋も真っ白な雪に覆われていて、普段見ることのできない姿になつています。



漢陽寺といえば、秋も大好きです。  
陽寺の紅葉が大変有名で。鮮やかな赤色と庭の様子が見事で、たくさん的人が訪れる季節である秋は、とてもすてきな季節だと感じます。

しかししながら、自分は震えるような寒さの中、真っ白な雪に包まれる冬も大好きです。

他の季節とは異なる姿を見せる冬。足元に気を付けながら、お寺を訪れてみてくださいね。



# えーる!

2024.02  
Vol.100

「鹿野のお米にさらなる価値を」  
ピュアライス研究所、オープン！

「ピュアライス研究所では、おむすびやコーヒー、抹茶などのメニューを提供しています。飲食店というより体験型の物産館のようないmageで運営しています。鹿野のお米をメニューという形で試食し、そのおいしさを感じた上で買って帰ってほしいですね。ゆくゆくは、お米を贈答品としても扱ってもらえるような、そんなブランドティングができるべと 思います」

ピュアライス研究所の立ち上げには、もうひとつの思いがあるんです、と福本さんは語ります。

「鹿野には、お茶を点てる方がたくさんいらっしゃるのですが、若い方が興味を持ち、やってみようと思つても、かしこまらずに体験する場所がなかなかあります。体験できる場所を作りたい、という思いも持つていました」

徳地には、同じように食材を食堂の形で提供し、販売スペースを設けているお店がありますし、北海道には、抹茶を自分で点てて飲むカフェがあるのでとか。

「あ、こういう形でお店をやつてもいいんだ、と思いました。こうした先輩たちがいることも、背中を押してくれました」

そんな情熱を胸に、本格的着手から約一ヶ月で開店までこぎつけました。

「この店を知り、低予算でもカフェができるんだ、鹿野で何かやってみようかな」という人が増えてほしいです。これからも、まちおこしの気持ちを忘れず、いろいろなことに挑戦していきたいと思います」

そう語る福本さんご一家のこれからに、心からエールを送ります！



# いざ、体験！ おむすびを作ってみました

## おむすびランチ

味噌汁・おむすび、漬物  
(ボロニアソーセージ)600円  
(ベーコン)800円  
(ロースハム)800円

持ち帰り・追加  
おむすび(ベーグル)400円  
おむすび(ベーコンorロースハム)600円  
味噌汁 200円



山の上のおむすびや ピュアライス研究所

●営業時間 ▼月～金曜日…11時～15時 ▼土・日曜日…10時～17時

※当面の間は、不定休になります。

※所用のため、早仕舞いする場合があります。

●場所 山口県周南市鹿野上 3260-2 (駐車場は少し離れた場所にあります)

取材に合わせ、おむすびとコーヒー体験をしてみました。  
福本さん自ら描いたメニューのイラストを眺めながら、「何にしようかな」とわくわくしながら考えます。

おむすびの具材に鹿野ファームの肉や徳地産の卵で作った卵焼きが使用されており、味噌汁にも県内産の味噌を、漬物にはしぶかわ工房さんの漬物を使用しています。

「料理に使う食材は、県内産の材料にこだわっています。今後、味噌汁には大潮田舎の店で作られた材料も使ってみたいですね」と今後の展望も話してくださいました。

それでは早速、おむすびを

作っていきます。巻き簀の上に置かれた海苔とご飯に、自分で具材を挟み、マヨネーズをトッピング。これから、トッピングも増やしていくんですね、と笑顔を見せる福本さん……もし

かすると、今日は何をトッピングしようか? と、その日の気分でオリジナルおむすびを作ることができるようになるかもしれませんね!

具材を置き、おむすびをサンドする……食べる前にひと手間あると、ただ食べるだけではない楽しさを感じることができま

すね。

コーヒーも、サイフオンから淹れていく体験ができます。本

来は自分が作るところを、今回越しください！

水が沸騰してから一分ほど時間が置くときも「この砂時計をひっくり返してください」と、こども店長に接客してほしいという方は、岳くんがいる日曜日に来店してみてくださいね。

開店に関わる思いのひとつでは、こども店長の福本岳くん直々にコーヒーを作っていました。



＼CHECK／

「健美処 おふく堂」公式Instagramでピュアライス研究所の情報も発信中！

## 光と音と花火の競演 31回目の冬花火

変寒く、花火が上がる頃には氷点下まで気温は下がっています。日が高い時間でも、日陰にいると、厚いコートを着っていても震えがきてしまうほど寒さでしたよ。

会場の鹿野小・中学校グラウンドには、飲食ブースのテントやキッズインカーラー、ステージが並びます。明るい時間帯からたくさん的人が訪れ、夜を待たずに、会場はとてもにぎわっていましたよ。

すっかり日が落ちると、いよいよ花火の打ち上げ時間がやってきました。

照明が落とされ、真っ暗になつた会場。しんと静まつた会場に輝き始めるレーザー光と、鳴り始める流行の音楽。ついに始まる！とワクワクしていたところに、ドーン、と爆発音が響き、夜空に花火

が上がる頃には、氷点下まで気温は下がっています。日が高い時間でも、日陰にいると、厚いコートを着っていても震えがきてしまふほど寒さでしたよ。

「えーる！」は、3月2日に開催された、かの冬花火「銀嶺の舞」2023 Spring Ver.について紹介します。

当日は3月初めとはいえた

かい陽気を感じる日が増えてきて、春が近いことを感じますね。今月号の「えーる！」は、3月2日に開催された、かの冬花火「銀嶺の舞」2023 Spring Ver.

について紹介します。

当日は3月初めとはいえたが上がり始めました。

空を見上げる皆さんから、「わあ」「おお」という声が聞こえます。打ち上がる花火にスマートフォンやカメラを向け、すてきな光のイベントを撮影しようとされています。

「冬花火を通して、鹿野の魅力を伝え、人材育成や地域振興を行い、未来へつなげていきたいと思っています」と語るのは、かの冬花火実行委員会会長の渡辺明彦さんです。

「鹿野は街灯も少なく、空気が澄んでいて、花火がひとときわきれいに見えます。会場ではレーザー光や音楽の演出を間近で見ることができます。それを目当てに来場される方も増えてきています。来場者の喜ぶ顔に、スタッフも達成感がありますね」と、思いを語ってくださいました。地域の皆さんと共に渡辺さんが作り上げた冬花火は、今年もたくさん笑顔と感動を見せてくれました。

鹿野の風物詩になつた銀嶺の舞。次回、32回目の開催にも、期待が高まります！

花火の様子は、  
動画でも公開しています。



# 会場を歩いて



ステージイベントでは、数組のバンド演奏が披露されました。



## 「鹿野でゆっくりした時間を」 Cafe 畦道 福田さんの思い



暖

かい陽気も感じられるようになり、鹿野

にも春がやってきたことを感じられますね。

今月号の「えーる!」では、西河内で「Cafe 畦道」を営む、福田省三郎さんをご紹介いたします。

83歳になる福田さんは、鹿野で生まれ育ち、20代の頃から広島でアパレル関係の仕事を始めました。以来、約50年に渡って広島で仕事をされていましたのだと、転機となつたのは、約10年前のことでした。鹿野に

帰つた福田さんは、人の住んでいない生家の状況を見て「どうにかしないと」と感じたそうです。

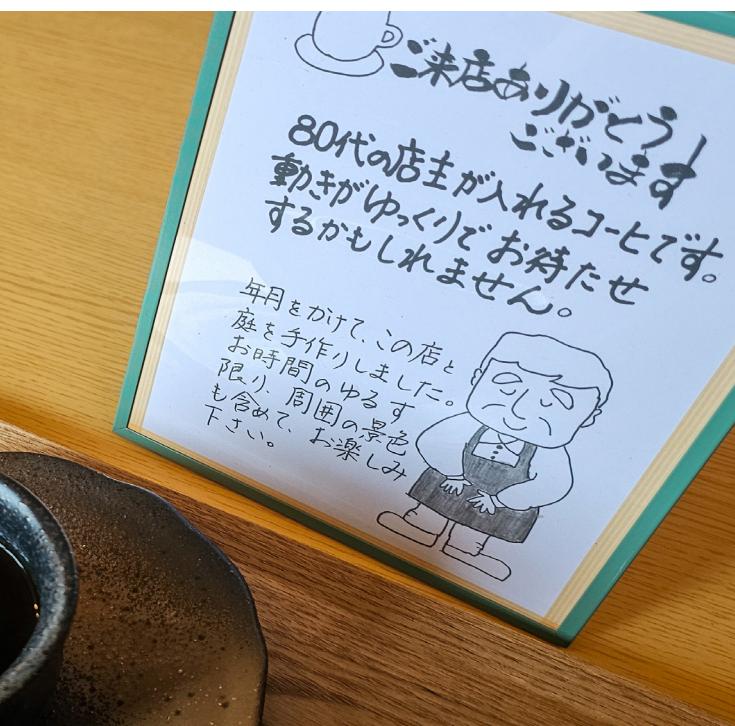
生家のほとんどを解体し、敷地の整備を行つた福田さん。カフェを営む建物は、もともと生家の炊事場に当たる場所でした。

「家族や近所の人々が遊びに来る場所になればと、この部分は残していました」と語る福田さんが、カフェをオープンしたのは、昨年10月のこと。地元有志が整備

した庭を一般開放するイベント「里山オープンガーデンかの」に参加した際、来場した方から「お茶が飲めるといいねえ」という声を受けて、開店に踏み切つたのだとか。

オープンから約半年が過ぎての思いを聞くと「大変ですがとても充実しています。近所の人も寛容で、たくさん車の往来があつても許してもらっていますからお店を続けることができています」と、手ごたえや周

ゆっくりした時間を過ごしてほしいです」と語る福田さんは。おいしいコーヒーと鹿野の自然、そして福田さんの気さくな人柄に癒され





テーブルが12席、小上がりが2席。観葉植物が並ぶCafe 畦道の窓からは、鹿野の豊かな自然を眺めることができます。山に囲まれ、田園風景が広がる鹿野の風景を見ながらコーヒーを飲んで、ゆったりした時間を楽しめそう。お店の近くには川が流れていて、初夏にはタルも舞うそうです！

## Cafe 畦道



●住所	山口県周南市大潮3-0-9-1
●営業時間	金・土・日曜日、祝日の10時～16時（1・2月は休業）
●メニュー	コーヒー、紅茶…450円 オレンジ・マンゴージュース、ジンジャーエール…400円 ピザ…700円 ワッフル・ケーキ各種…400円 ケーキセット…700円
●駐車場	8台程度
●問合せ	090-4104-6277



ひときわ目を引く石畳の道が印象的な、店外の庭。この道は、家を解体したときに出てきた石などを使い、整備したものなのだと。カフェオープンのきっかけにもなった「里山オープンガーデンかの」は、今年も4～5月の2ヶ月間、鹿野の各地にある庭を会場に開催されます。期間中はカフェ営業を拡大して、木曜日以外の週6日、庭にも席を設置して開店予定です。ガーデンの見頃は4月下旬頃からですから、ぜひ、カフェと一緒に、すてきな庭も楽しんでくださいね。

鹿野を応援する地域情報紙

# えーる!

2024.05  
Vol.103

## こころ踊る鹿野の春 里山オープンガーデンかの 2024

その計画のひとつとして鹿野を訪れる交流人口を増やすため、「里山オープンガーデンかの」は、令和2年から、毎年4～5月に実施されています。

季節の花が咲く庭、さまざまなオブジェが飾られた庭、まるで森の中のような木々に囲まれた庭、岩や石を利用した庭……庭ごとの特徴がある22の庭が参加しました。今回の里山オープンガーデンかの。庭の中で耳を澄ませてみると、木々が風に

み、鹿野の外に風を吹かせたい、さまざまなお因で消えゆく里山を緑や花の力で鹿野から変えていきたい、そんな思いで平成23年から活動している鹿野の風プロジェクト。

**心** 地よい日差しが降り注ぐ、過ごしやすい季節になつてきましたね。今月号の「えーる！」は、5月末まで開催中の里山オープンガーデンかの2024をご紹介します。

揺れる音や、小鳥のさえずりが聞こえます。こうした鹿野の自然が、庭の魅力をいつそう引き立ててくれるよう感じました。地面に広がる花や、立派な枝を広げる木々を堪能した後は、さらに視線を上に向けて、空を見上げてみると、そんな楽しみ方もあるのかなど思います。

春の暖かい日差しの中で鹿野の庭をぜひ堪能してくださいね。

### 里山オープンガーデンかの 2024

期間 4月1日（月）～5月31日（金）

10時～16時

※開園時間・休園日は、庭により異なります。

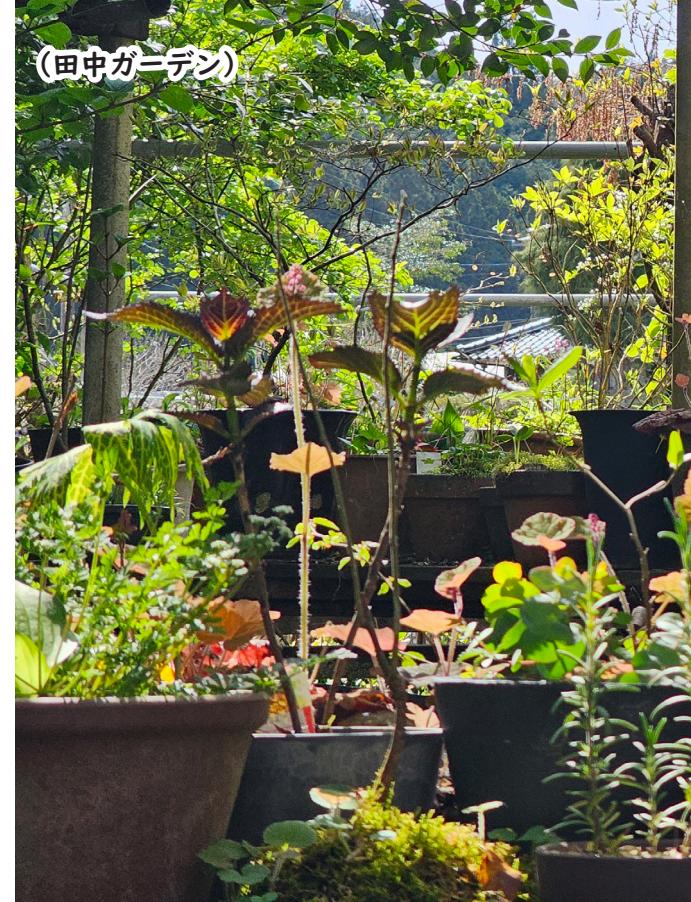
詳しい開催場所やパンフレット、案内マップは、ホームページなどで公開しています。



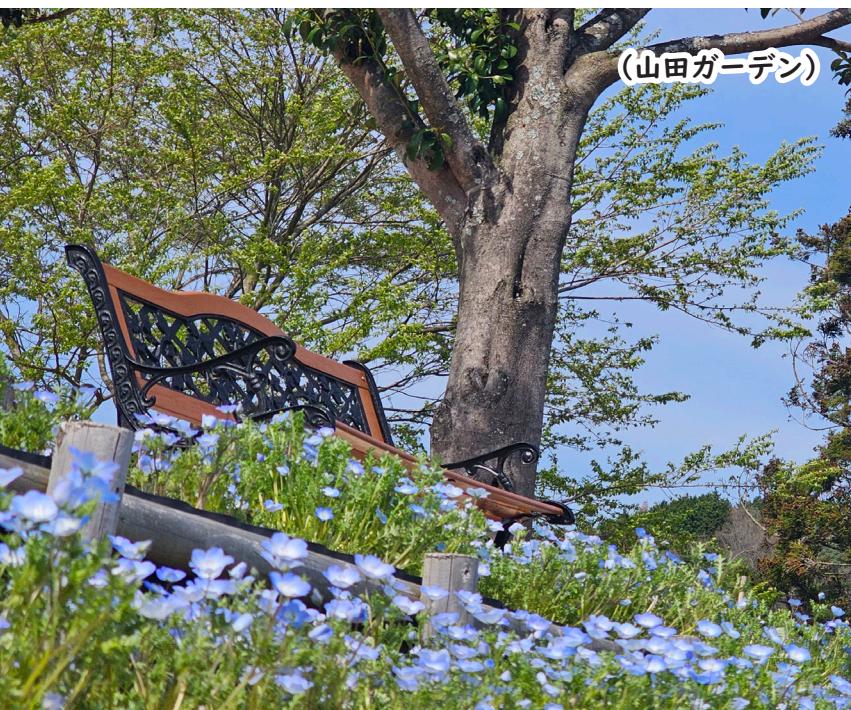
(9リリガーデン)



(たぬきの庭)



(田中ガーデン)



(山田ガーデン)



## 注目の庭！

旧・農家レストランたぬきの周辺に広がる「たぬきの庭」は、地面に広がる花、木に咲く花と、さまざまな種類の花を楽しむことができます。

日曜日限定公開の「田中ガーデン」では、空を覆うような木々の間から、小鳥のさえずりが聞こえてきます。運が良ければ、鳥たちの姿を見ることもできますよ。

斜面を使い上下に広がる「山田ガーデン」は、ベンチの下にネモフィラの青が広がります。ベンチに腰掛けて見える鹿野の風景も一見の価値あり！ ぜひ一度、見てみてくださいね。

鹿野興産の裏山に広がる「鹿野興産の桜丘」には、たくさんの木々が植えられています。手前に広がる採石場も大迫力！ 会社が休みの日曜日に訪れるのがおすすめです。

魅力ある庭がそろった里山オープンガーデンかの2024。あなたのお気に入りが、きっと見つかると思います！



(鹿野興産の桜丘)

# 会場に響く子どもたちの声 第19回いっておかえり鹿野市

**雨**が多くなり、寒さを感じる日も多くなりました。体調に気を付けて過ごされてくださいね。

今月号の「えーる!」では、5月18日に開催された第19回いっておかえり鹿野市についてご紹介します。

萩市から岩国市までの約100キロメートルを結ぶ旧山代街道。鹿野もこの街道沿いにあり、江戸時代には宿場町として栄え、毎月3のつく日には市も開催されていました。

この市を現代に復活させることで、鹿野がにぎやかになれば……という思いから始まつた「いっておかえり鹿野市」は今回で19回目。雲一つない快晴の下、22の店舗が出店し、鹿野小学校児童もスタッフとして加わりました。「いらっしゃいませ!」と、普段は静かな鹿野の町なかに、元気な子どもたちの声が響いていましたよ。

子どもたちは交代でお店の手伝いをしたり、参加者のシ

食だけでなく、多肉植物販売、マツサージやストラックアウトなどが並び、市を盛り上げます。商工会前では、鹿野さんさ保存会の太鼓体験や、ミニコンサートも開催されました。

そんな鹿野市は、どのようないで運営されているのでしょうか。鹿野ブランド創出研究会の洞崎さん(ほらさき)に思ひをうかがいました。

「鹿野がにぎやかになってほしい、地元の人に元気になつてほしい、という思いで鹿野市は始まりました。そのうちに、学校と地域が一体になり、児童と地域の交わりを生み出そうという流れができてきました」

「子どもたちと、さらなる元気を届けるイベントへと成長していく鹿野市は、次回でついに20回目。ぜひ、次回も会場に行ってみてくださいね。」

「町なかに子どもの声があれば、地元の人も元気になります。子どもたちにとつては鹿野市が学びの場になります。郷土愛をはぐくむことにつながれば良いと考えています」

「ボルの暖簾がたなびく会場を走り回る姿も見られます。子どもたちが自由に会場を走り回っている姿は、なかなか見ることができない、と感じます。会場には、かき氷や焼きそば、お好み焼きなどの軽食だけでなく、多肉植物販売、マツサージやストラックアウトなどが並び、市を盛り上げます。商工会前では、鹿野さんさ保存会の太鼓体験や、ミニコンサートも開催されました。

たくさんの大人が、子どもたちに対する思いを持つのでしょうか。鹿野ブランド創出研究会の洞崎さん(ほらさき)に思ひをうかがいました。

「子どもたちの力……児童の描いた絵がチラシになったり、お店のスタッフになつたりという力が加わって、鹿野市がよりすばらしいものになつているように感じます。」

シンボルの青い暖簾



KANO BASE



鹿野小PTCA



大潮田舎の店



いって  
おかえり。  
鹿野市



鹿野小学校の児童をはじめ、たくさんの人人がスタッフとして参加した鹿野市。

写真で、鹿野市の賑やかな様子をお届けします。

令和6年5月18日(土)

10時～15時 周南市鹿野中心部にて



鹿野さんさ保存会



# えーる!

2024.07  
Vol.105

## 萩からやってきた”熱風” SENDANMARU CAFEで、海のランチタイム！



始まつた、獲れたての魚を船上で下処理し、漁港から消費者のもとへ自家出荷する、という船団丸の取り組みは、ドラマ「ファーストペンギン！」としてドラマ化もされました。

普段はドラマを見ない自分が、その名前を知つているドラマのモデルになつた企業が、萩市から車で一時間も離れた山間の鹿野にやってくる……そこには、どのようなご縁があつたのでしょうか。

萩市に移住して15年が過

て、追加してメニューの提供を行いました」という工ピソードもありました。

会社名のGHIHLIとは、イタリア語で、サハラ砂漠から地中海に向かつて、追加してメニューの提供を行いました」という工ピソードもありました。

天候や交通アクセスの条件を言い訳にせず、人が集まる理由を作りたい。そのため、ドラマ化された知名度も生かして、何かできればと思いました

平成22年、山口県萩市で始まつた、獲れたての魚を船上で下処理し、漁港から消費者のもとへ自家出荷する、という船団丸の取り組みは、ドラマ「ファーストペンギン！」としてドラマ化もされました。

普段はドラマを見ない自分が、その名前を知つているドラマのモデルになつた企業が、萩市から車で一時間も離れた山間の鹿野にやってくる……そこには、どのようなご縁があつたのでしょうか。

株式会社GHIHLI代表取締役で「ファーストペニン！」の主人公のモデルにもなつた坪内知佳さん

ぎ、山口県に育てられて今 日に至りました」と語る坪内さんは、船団丸だけでなく、規格外パールをプラン開催された「SENDAN MARU CAFE」の話を聞いて、ぜひ行ってみようと思いました。

平成22年、山口県萩市で始まつた、獲れたての魚を船上で下処理し、漁港から消費者のもとへ自家出荷する、という船団丸の取り組みは、ドラマ「ファーストペンギン！」としてドラマ化もされました。

そんな坪内さんと鹿野の縁は10年前から始まりました。鹿野に友人がおり、その縁で、イベントの手伝いなどで鹿野を訪れていたんですよ。

友人が店をクローズするという話を聞き、店舗の賃貸契約が終了するまでに何ができるのをしたい、と

いう思いから、SENDAN MARU CAFEの企画を立ち上げ、なんと3週間で実現に至りました。

「急きよ、漁から戻つてきました」と語る坪内さんや関係者の皆さ

まの情熱が、鹿野の町に、たくさんの人を招いてくれました！

吹く熱風のこと。

坪内さんや関係者の皆さまが並び、なんと初日分の食材が、わずか30分で完売したのだとか。

天候でしたら、カフェは大



SENDANMARU CAFE メニューを実食！！

# 粹粹！舟団れお魚プレート

皮が香ばしく炙られたレンコ鯛や、とろつとして甘い剣先いか。しょう油をつけるのがもったいないぐらい、食材の新鮮さを堪能することができました。

魚だけでなく、萩大島産の野菜もおいしい！みずみずしく、シャキシャキした野菜と、こめ油と塩で味付けされたツナを合わせていただきました。



剣先いかと萩大島産の野菜の煮つけが、とってもいい味を出しています！ イカがこりこりして、歯ごたえのある味わいをプレートに添えてくれていましたよ。

プレートの中で、自分のイチオシはアジの塩焼きでした！ 塩で味付けされ、焼き上げられたアジは、かみしめるたびに「じゅわっ」と味を感じることができ、シンプルであるゆえに、口いっぱいに魚の味を感じられますよ。

鹿野のお米を使い、あら出汁と魚と一緒に炊き込んだご飯も、しっかり味がしみ込んでいます。これだけで、がっかり食べたいぐらい！ 魚の出汁のうまみが、お米によく合うんです。

## インターネットで、通販展開中！

船団丸の新鮮な魚を楽しめる粹粹 BOX をはじめ、さまざまな事業を展開する株式会社 GHIBLI。坪内さんの公式サイトから、展開事業の通販や申し込みをすることができます。ご興味がある方は、ぜひご覧になってみてくださいね。



# えーる!

2024.08  
Vol.106

## 鹿野の夏を彩る 天神祭と二十歳を祝う会

お 盆も過ぎ、少しずつ秋が近付いていきますが、まだまだ暑い日々が続いていますね。

今月号の「えーる!」では、鹿野の夏に行われたイベントを2つご紹介したいと思います。

ひとつ目は7月30日に開催された鹿野天神祭です。

会場に向かう頃にはすっかり日が落ちていきました。

遠くに見える屋台の明かりや、イベントのアナウンスをしている声が聞こえてくると、ついつい早足になってしまいます。

ワクワクしながら到着した会場。平日の開催ながら多くの屋台が並ぶ会場にはたくさん的人が訪れ、賑やかな雰囲気を楽しんでいました。

お菓子まきが終わってひと段落している間に、会場で腹ごしらえをすることになります。焼きそばにイカ焼き、焼き鳥など、屋台のメニューは、どれもおいしそう。屋台を楽しむのも、お祭りの醍醐味ですね。

出に残していました。



真夏の成人式を皆でお祝い

# 鹿野地区二十歳の集い



8月12日、コアプラザかので行われた「鹿野地区二十歳の集い」。20歳となつた若者を招き、皆でお祝いするこの会は、コロナ禍に伴い始まつた行事です。地区コミュニティである「明るく元気な鹿野をつくる会」が主催するこの行事は、地域手作りで二十歳となつたことを祝おう、という考え方で行われており、当日は6人の方が参加しました。

自己紹介の後「ここは鹿野のどこでしよう?」と場所当てクイズが行われたり、鹿野の良いところを一文字で表現して発表したりと、さまざまな催しが続きます。鹿野の良いところとして挙げられた一文字には、小・中学校時代の遊び場だった、とてもきれいな水で魅力的だったと「川」をあげる人、癒やしを感じるから「癒」、県外に暮らしていく鹿野の温かさを思い出したと「温」、自然の豊かさや、地域の人たちと何気ない会話やあいさつが自然とできる心

の豊かさから「豊」など、鹿野の良さがさまざまな文字で表現されているな、と感じました。

クイズも終わり、スライドで6人があ小学年の頃、特別養護老人ホーム「やまなみ荘」で合唱を披露したときの動画が流されます。皆さん、昔を思い出しながら動画に見入っていましたよ。

記念写真撮影の後、地域の皆さんとの会食に移ります。乾杯の後地域の方々が準備したオードブルやアユの塩焼きなど、鹿野ならではの料理を味わいながら、会場はわいわいと賑やかな雰囲気に包まれ、皆が楽しそうに食事をされていました。

「市が主催した二十歳の記念式典には出席できなかつたけれど、こゝで地区のつどいに出ることができて良かった」と感想を述べる方もおり、鹿野の新成人にとつて思い出に残るすてきな時間になつてくれたのではないか、と思いました。

の豊かさから「豊」など、鹿野の良さがさまざまな文字で表現されているな、と感じました。

クイズも終わり、スライドで6人があ小学年の頃、特別養護老人ホーム「やまなみ荘」で合唱を披露したときの動画が流されます。皆さん、昔を思い出しながら動画に見入っていましたよ。



## 「光の庭園から未来のリーダーを」 かの'こと清流Fes. 初開催！

す つかり暑さも和らぎ  
秋の訪れを感じます  
ね。今月号の「えーる！」  
では、鹿野の秋を彩る新た  
なイベント「かの'こと  
清流Fes. ~光の静寂・庭  
園モダニズム~」について  
ご紹介します。

今年初開催となるこのイベ  
ントは、プロジェクショ  
ンマッピング（立体物など  
に映像を投影する技術）に  
より、映像が投影された漢  
陽寺の「曲水の庭」をメイ  
ン会場に行われます。

このイベントは、毎年冬  
に開催される「かの冬花火  
銀領の舞」に替わるイベン  
トとして、3年前から計画  
が進められていました。  
多くの方が訪れる冬花火  
から、新たなイベントに移  
行する背景には、どんな思  
いがあるのでしょうか。か  
渡辺明彦さんに、お話をう  
かがいました。

「冬花火は一日限りですが、  
この清流Fes.は10日間に  
わたって行います。長期間、  
イベントを楽しんでもらえ

るようになります」と考  
えて、今回それが形になりま  
した」そう語る渡辺さんは  
思いは、イベントの成功だ  
けに留まりません。

「イベントを通して地域を  
盛り上げたいという気持ち  
はもちろんですが、若者が  
運営に関わることで、次世  
代を担うリーダーとして成  
長してほしいという思いも  
あります」

プロジェクトには、かの  
冬花火実行委員会や鹿野町  
商工会、漢陽寺や明るく元  
気な鹿野をつくる会など鹿  
野のさまざまな団体が参加  
し、メンバーには30～40代  
の若者も加わっています。

清流Fes.が、彼らの成長

の場になってほしい……今  
の鹿野が盛り上がるだけで  
なく、未来の鹿野が今まで  
以上に盛り上がることも視  
野に入れている、鹿野の将  
來を思う気持ちに触れるこ  
とができました。

「11月の鹿野は紅葉の季節。  
昼は紅葉を楽しみ、夜は清  
流Fes.を楽しんでほしい  
と思います。メイン会場に  
なる曲水の庭も、昼の様子  
とまったく異なる、水墨画  
が動いているかのような非  
日常を、ぜひご覧になつて  
ください」鹿野の誇る庭園  
を主な舞台に、10日間の祭  
典が始まる11月。その開催  
が、今からとても楽しみで



# メイン会場 漢陽寺「曲水の庭」

国の登録記念物にも選ばれた漢陽寺「曲水の庭」。

会期中には、映像技術を駆使した、昼間とはまた違った顔を見ることができます。「庭に一味加えたい」そんな思いで彩られる庭園を、ぜひご覧ください。



## 入場にはチケットが必要です

メイン会場に入場するためには、チケットが必要になりますが、ゆっくりと庭園の様子を観賞することができます。

前売券は1,000円、当日券は1,500円で販売されます。1日の入場者には限りがありますので、確実に庭園を見たいという方は、チケット販売サイト「Livepocket」から、前売券の購入をご検討ください。



## 清流通りもにぎやかに！

潮音洞の水が流れる「清流通り」では、期間中、キッチンカーなどが並ぶ、飲食・物販コーナーが展開されます！

昼間も出店予定ですので、昼間は紅葉を楽しみながら散策し、夜はまた違った景色を楽しんでみてくださいね。



●紅葉した清流通り（2023年11月撮影）

## かの'nこと清流Fes. ~光の静寂・庭園モダニズム~

期間 11月8日（金）～17日（日）

時間 ▼漢陽寺…17時30分～20時30分（庭園への最終入場20時）▼清流通り…10時～20時

メイン会場への入場料 ▼中学生以上…前売券1,000円、当日券1,500円 ▼小学生以下…無料

問合せ ▼周南観光コンベンション協会 0834-33-8424 ▼かの'nことプロジェクト 090-1330-4662



## 夕暮れに輝く願いの灯 清流通り灯ろう流し開催

明るく元気な鹿野をつくる会により企画されたこの催し。「鹿野に水路を掘り抜いた岩崎想左衛門重友とその思いに共鳴した住民がつくりあげた潮音洞。その水が流れる清流通りで、何かができる」という思いで実施されています。

カメラを手にする人たちの姿もたくさん見かけることがで、コロナ禍の中で始まつたこのイベントが、次第に認知されてきていることを感じます。

17時30分になり、お経があげられた後、水路に灯ろうが流れ始めます。少し早歩きが必要なぐらいの速さで水が流れる水路。その流れに乗つて、あつという間に流れいく灯ろうを見逃すまいと、小走りになつて追いかけました。

17時30分になり、お経があげられた後、水路に灯ろうが流れ始めます。少し早歩きが必要なぐらいの速さで水が流れる水路。その流れに乗つて、あつという間に流れいく灯ろうを見逃すまいと、小走りになつて追いかけました。

水路は段差のある場所もありましたが、水の流れに乘つてくるくると回転しながら、灯ろうは無事に段差を越え、流れています。

池から周南市役所鹿野総合支所横までの数百メートルを流れた灯ろうは、参加者の皆さんお手伝いし、



奏上を見守りました。

最後に行われた灯ろうのお焚き上げでは、釜に投げ込んだ灯ろうが、どんどん燃え上がっていく様子を見守りました。灯ろうが放つ温かさを感じ、揺らめく炎を見ていると、不思議と安らぎを感じることができます。

主催の明るく元気な鹿野をつくる会の皆さんや、運営のお手伝いをする参加者の皆さんを見ていると、この灯ろう流しが単なるイベントに留まらず、鹿野に暮らす人たちのすてきな部分を見つけるきっかけになつたように感じました。

朝 晩は寒さを感じる毎日。秋を感じることのできる気候になりましたね。今月号の「えーる!」では、10月12日に開催された「清流通り灯ろう流し」をご紹介します。

文化祭は町づくり……初めての挑戦！

# 鹿野まるっとマルシェ

コアプラザかの文 (11月9日~12月1日)

▽下瀬信雄写真展▽地元の皆さんの展示

▽人形劇 (12月1日)

毎年、秋にコアプラザかので行われる鹿野文化祭。今年はそれだけでなく、鹿野「まるごと」文化祭として12月1日まで開催されます。

今年初の試みとして会場を3つに増やし、11月9・10日の2日間は、カフェなど鹿野の中に点在する店舗を会場に、さまざまな演奏会や展示が行われます。まさに鹿野がまるごと会場になった文化祭と言ったのにふさわしい2日間ですね。

特に11月10日には、旧大潮小学校を会場にしたマルシェが目を引きます。多くの雑貨やキッチングターなどが並ぶ他、写真展や人形劇など、鹿野の秋を満喫できる時間になります。

期間	11月9日(土)~12月1日(日)
場所	コアプラザかの、旧大潮小学校、各店舗
問合せ	福田さん☎ 080-6311-4079 岩田さん☎ 090-4800-8640 ※清流Fes.は☎ 0834-33-8424まで

旧大潮小学校 (11月10日)

▽鹿野写遊会 6人写真展▽人形劇

▽KANO & KANO まるっとマルシェ

▼カフェなどの店舗は、11月9・10日開催です

たぬきの館 ※11月9日~12月1日は不定期営業します。

▽オカリナ演奏 (10日11時) ▽癒しの星空写真展

▽おはなし会 (11月30日13時)

cafe マルタ ※11月9日~不定期営業します。

▽ジャズ演奏 (9日11時) ▽ピアノ演奏 (10日11時)

▽ガーデン写真展

カフェ畦道

▽沖縄音楽 (10日) ▽ふるさと芸術村有志写真展▽水彩画展

旧カフェ 9/11

▽フォーク演奏 (10日14時) ▽フォトグラファーNAO写真展

▽陶芸体験教室 (各10時30分先着8人)

ピュアライス研究所

▽中村美江写真展

かの「こと清流Fes. (11月8日~17日)

▽プロジェクトショマッピング

▽アコーディオン&ギター (10日13時30分)

子たぬきのパン (10月31日~11月24日)

▽マエサキマユ個展

▽お月様の晩餐会 (11月9日17時~30分先着20人、要予約)

# えーる!

2024.11  
Vol.109

## 庭が、輝く。 かの'んこと清流 Fes.



そして11月9日、通い慣れた鹿野への道を、いつも違った気持ちで走り、会場へとやつて来ました。された山門に目を奪われます。山門の前に造られた、巨岩を配置した曹源一滴の庭が青く浮かび上がり、見慣れた山門が、まるで別世界のよう。

「えーる！」は、11月8日（土）に漢陽寺をメイン会場に行われた「かの'んこと清流『Fes.』」についてご紹介します。

庭園に映像を投影するプロジェクトならではの光を使つた10日間。前売券を購入した9月から、どんな映像を見ることができるのかと、ワクワクしながら開催を待つていました。

そして11月9日、通い慣れた鹿野への道を、いつも違った気持ちで走り、会場へとやつて来ました。メイン会場の漢陽寺に到着してすぐ、ライトアップされた山門に目を奪われます。山門の前に造られた、巨岩を配置した曹源一滴の庭が青く浮かび上がり、見慣れた山門が、まるで別世界のよう。

内ではどんなものを見ることができるのだろうかと、期待が高まります。

そして始まった映像。舞い散るモミジ、月とススキロジエクションマッピングをメインに、夜間のイベントならではの光を使つた10日間。前売券を購入した9月から、どんな映像を見ることができるのかと、ワクワクしながら開催を待つていました。

中でも自分が一番感動したのは、岩の輪郭を光がなぞり、岩が暗闇に浮かび上がる演出と、庭の中を通る水の流れがライトアップされる演出でした。

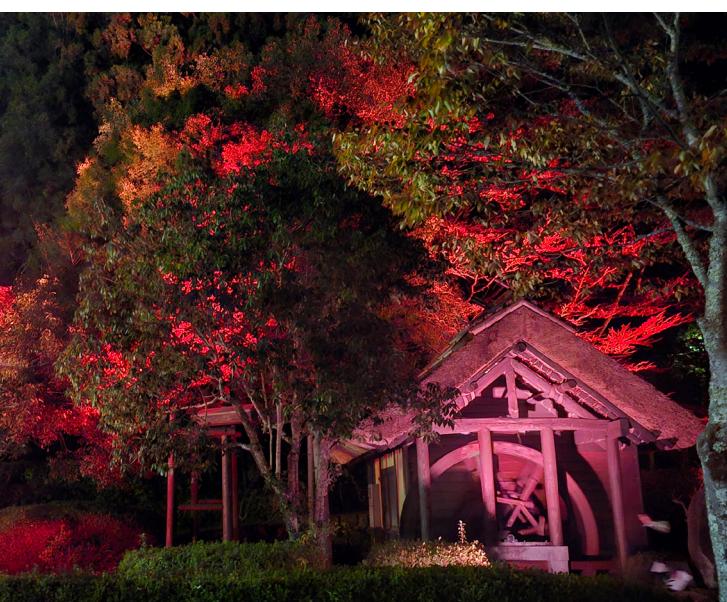


「すてきでした」と伝えようとして、声が詰まつてうまく感想を伝えられなかつたほど、心を揺さぶられる演出でした。

シャッターを切ることに夢中だった一度目の上映。それで終わりたくない、もう5分間、その場で庭の演出を楽しめていただきました。

「すてきでした」と伝えようとして、声が詰まつてうまく感想を伝えられなかつたほど、心を揺さぶられる演出でした。

# 庭園のライトアップと 清流通りの夜をあわせた



地蔵菩薩と子どもたちが遊ぶ様子を表した地蔵遊化の庭でも、プロジェクションマッピングが行われました。写真奥に見える蓬莱山池庭や、裏山の木々が美しくライトアップされ、庭の映像を彩ります。

光の円や模様、打ち寄せる波の映像が庭の砂紋に映し出され、最後に庭の特徴である岩たちに光が当たり、まるでスポットライトのように岩を浮かび上がらせました。

お地蔵様と子どもたちの遊ぶ様子が、目に浮かんてくるような演出だと感じました。

漢陽寺の山門から、周南市役所鹿野総合支所へと延びる遊歩道「清流通り」では、地元団体のバザーなどが、お昼から夜まで交代で出店されていました。18時頃に漢陽寺を訪れ、ちょうどお腹が空いた頃に訪れた清流通り。夕食はここで食べるしかない！という気持ちになりました。

寒さも強まる11月の夜、ライトアップされた漢陽寺を遠くに眺めながら、おいしい食事をしていただきました。

清流通りのフォトスポットでもある水車小屋も、紅葉を

秋、紅葉する木々に包まれて見えました。光と映像とで、庭の特徴を浮かび上がらせる演出は、こどもの頃から見慣れた庭の美しさを、改めて感じさせてくれました。

冬の花火に替わり、秋を彩る光のイベント。これからもこのイベントが鹿野を盛り上げてくれるよう願い、心からエールを送ります！

思わせる真っ赤なライトで照らされ、普段と違った顔を見せてくれました。